

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年 10月 31日公開

カリフォルニア州サンフランシスコのダウンタウンより、シャローム。アミールです。イスラエルと中東で起こっていることのいくつかを、短くアップデートしたいと思います。現在、実に多くの事が起こっています。イスラエルは現在、真夜中ですが、昨日起こった事に関して、今後、たくさんお話することになると思います。パレスチナのテロリストが、ガザとイスラエルの間に掘っていたさらにもう一つのトンネルの破壊についてです。

その前に、世の問題、世の煩いについて語る前に、この週末の出来事について短く「プレイズリポート」（賛美報告）をしたいと思います。私は、バンクーバー周辺の預言カンファレンスにご招待いただいて、他にも講師がいる中、2回話をさせていただきました。最初、それがどんな風になるのか、全く予想できなかったのです。この地域では、このようなイベントが行われるのはこれが初めて、少なくともこの団体が、ここで行うのは初めてだったようで、どういう展開になるのか、全く予測がつかなかったのです。ただ、私たちに分かっていたのは、神の御言葉と、世界で実際に起こっていることに対する、物凄い飢え渴きがあったということ。そして、私が到着したのは、金曜日の夜でしたが、私は物凄く疲れていて、メッセージはまだ出来てもいませんでした。恐らく夜中の1時半だったと思いますが、それから朝まで寝ずにメッセージの準備をしていました。話す内容は決まっていたのに、それがなかなかまとまらなかったのです。結局、朝起きてからメッセージをまとめて、準備を整えて行ってみると、予想外に、1000人近くが集まっていて驚きました。カナダ中の全地域から、さらにはワシントン州、オレゴン州、カリフォルニア州からも、人が来ていたのです。私たちは本当に驚いて、そして祝福されました。私以外にも、Andy Woods 博士、Bill Koenig 先生、Eric Barger 先生がおられて、本当に素晴らしい時間でした。神の臨在があり、賛美も素晴らしかったですし、それぞれの講師が、ほぼ同じ意見、同じ角度で語ったのには、物凄い一致に感動しました。皆がとても祝福されて、これからは毎年行おうかと話をしました。ですから、多分、現在ミネソタや他の場所でのカンファレンスに加えて、今後はカナダでも、大きな預言カンファレンスを行うことになると思います。ともかく、とても素晴らしい週末でした。私たちはそれに対して、全ての栄光、全ての誉れを神にお返しします。私たちがこのような事をしたのは、これが初めてですが、神が本当に祝福してくださいましたから。

ということで、報告でした。私は今日の午後カナダを出て、カリフォルニアに到着。ここには6日間滞在して、ベイエリアのいくつかの教会で話してから、家に帰る予定です。以上が報告でした。では、中東情勢の報告に入る前に、お祈りしましょう。このアップデートを神が祝福してくださいるように。

お父様、いつも臨在してください、ありがとうございます。

私たちはあなたの呼びかけに応え、私たちのすべき事を行いますが、あなたはあなたの御業を行われ、私たちは一度たりとも落胆させられたことはありません。あなたがカナダでしてくださったことに、感謝します。そしてこの先、さらに素晴らしいことをしてくださると期待しています。あなたに感謝します。

どうか、このアップデートも、あなたが支配してください。そして、これからも、この混乱した世にあ

って、私たちに慰めの言葉をお与えください。

イエスの御名によって、あなたに感謝し、あなたを祝福します。

アーメン。

では、始めましょう。アミール・ツアルファティです。現在サンフランシスコにいて、私の背後に見えるのは、サンフランシスコのダウンタウンです。明日は唯一フリーな日なので、少し観光出来ればと思っています。今日はこの24時間の間に、イスラエルで起こった事についてアップデートしたいと思います。これが、現在の状態よりも、はるかに大きな事に発展する可能性があるのです。これは、シリア国境の話ではなく、レバノン国境の話でもなく、ガザ地区の話です。あそこは長い間、比較的穏やかな状態が続いていて、その理由と言うのも、彼らが、地上では、自分たちには何も出来ないことを理解していたからです。あそこでは、パレスチナの政治地図両者、ファタハとハマスの間で、「偽の和解協議」が成立していました。「偽平和」は、エジプトの大統領によって仲介されたものです。しかし、残念ながら、アメリカが中東に送った全ての使節が——面白いのが、彼らは全てユダヤ人です。グリーブラット、クシュナー、財務長官のマヌーチン、その他。ともかく、彼ら全員が、その嘘を信じたのです。しかし、興味深いのは、真実は必ず明るみに出ます。全てが上手く行っていると、皆が地上で平和を装っている間に、パレスチナは継続して地下でトンネルを掘っていたのです。皆が地上で平和について語り合っている間に、彼らは地下で戦争を作っていた、面白いと思いませんか？あちらでは、誰も平和を求めてはいません。彼らは平和なんて求めていないのです。ハマスの、イスラム聖戦主義者たちも、両方ともがこれらのトンネルを掘っていて、イスラエルの存在権利を認めないのですから。彼らは自分たちの憲章も、彼らの原理も、イデオロギーも一切変えません。彼らの目的は、イスラエルを滅ぼすこと、それだけです。そこで彼らがする事と言えば、地上で出来ないのなら地下でしょう、ということです。トンネルを掘って、そこに偽装爆弾を仕掛け、そこにテロリストを送り込む。このトンネルをイスラエル側まで繋げて、人を誘拐するか、奇襲を仕掛けて皆殺しにするか。イスラエルはこの4年間で、実に精巧な装置を開発していて、それは機密なので、私にはただ「地下にトンネルを探知した」ということしか言えませんが、それがどこに存在するのか、我々は正確に分かっています。それに対して、彼らは非常に衝撃を受けているのです。彼らにとって有益だったことが、不利になったのですから。現在、我々が彼らの所在を知っているだけでなく、彼らは罠にかかり、閉じ込められているのですから。昨日の夕方、イスラエルは大爆破を行い、その音は、その地域全体で聞かれました。何が起こったかは、皆分かっていませんが、実際は、我々がトンネルを探知、トンネル内のテロリストを探知し、イスラエルに続くトンネルの、イスラエル側を爆破したのです。そこで何が起こったかという、パレスチナがトンネル内に、多数の爆破物を置いていたため、その爆破物の煙や爆風が、はるばるトンネルの入り口である彼らの側まで届き、9人以上が死亡、多数が負傷しました。彼らにとって祝うべきものが、嘆きが変わったのです。そして、面白いことに、彼らは私たちに対して怒っています。彼らがこれらのトンネルを掘ったのです。彼らが偽装爆弾を仕掛けて、彼らが、イスラエルに侵入させるため、テロリストを送ったのです。ここは、イスラエルの統治区域です。そこがイスラエルの領地であることは、1967年以前でも誰もが承知しています。それなのに、全て怒りの矛先は、私たちに向けられています。パレスチナ高官は、私たちに怒り、ハマスの、イスラム聖戦主義も同じです。これらの事が全て、彼らの真の目的、彼らの真の正体を暴露しています。

間違ってはいけません。イスラエルとユダヤ人の根絶を目指している、イスラムが主要宗教である限り、パレスチナとも、アラブ界とも、平和は絶対にありません。それは、絶対にありませんから。サウジがどんどん我々と親しくなってきている事実については、ずっとお伝えしてきましたが、2日ほど前、ジャレド・クシュナー氏と代表団がサウジアラビアにいて、再び和平協議を始めようとしていたのです。そこへ、このトンネル騒ぎで、パレスチナだけでなく、アメリカ代表団の顔も吹き飛ばしました。なぜなら、地上では平和を語りながら、地下では引き続き陰謀を企む事など、出来ませんから。

とても面白いことに、聖書詩篇 120 篇には、こうあります。最も長い 119 篇の次に、こう書かれています。

6 私（の魂）は、久しく、平和を憎む者とともに住んでいた。

7 私は平和を――、私が話すと、彼らは戦いを望むのだ。

（詩篇 120:6~7、カッコ内は訳者）

このように私たちは、平和を憎む者たちのただ中に住んでいるのです。そして、私たちが平和について話すと、彼らは戦いを望みます。そして、今回何が起こったかと言えば、トンネル爆破でテロリストの上層部たちが死んだのです。イスラム聖戦主義は最高司令官たちを失ったため、非常に激怒していて、報復を約束しています。これによって、パレスチナが平和を望み、平和を追及しているように見せかけて来た働き、それと、この地域に平和をもたらそうとして来たアメリカの努力が大きく後退しました。しかし、聖書には、彼らが「平和だ、安全だ」と言っている時に、突如として滅びが襲うと告げている事（第一テサロニケ 5:3 参照）を、私たちは知っています。また、彼らは平和がないのに、「平和だ。平和だ。」と言っていることも、私たちは知っています。ですから、私たちは実際には平和への構えよりも、どちらかと言えば、戦争の覚悟を決めています。

ちなみに、ヨーロッパはとんでもない危機に直面しています。14 万人以上の難民が、主にアフリカから向かっていて、まさにヨーロッパに到着しようとしています。それによって、現在既に起こっているのに加えて、更に混乱が起こるでしょう。それだけでなく、現在のスペインの危機は、ヨーロッパがどれほど不一致で、完全に分断しているかを証明しています。国々が互いに敵対しているだけでなく、国内でもそれぞれが互いに敵対し合っています。これには、ダニエルが夢で見たことを彷彿させます。両足は、鉄でもなく粘土でもなく、鉄と粘土なのです。鉄と粘土は混ざり合いません。だからこれは、「分断された」復活ローマ帝国なのです。それが現在起こっています。

現在、とても興味深い展開が起こっています。

アサドは、ISIS の残存者たちの手による犠牲者が更に多く出て、引き続き苦しんでいます。私が物凄く気の毒に思うのは、イラクのクルド人たちです。皆さん、ご存知かどうかは分かりませんが、イラク北部のイラク領クルド人自治区で知られる地域では、住民投票が行われ、最終的に独立宣言しました。恐らく皆さんがご存知ないのは、イラクの大統領（書記注：ファード・マアスーム。任期：2014 年 7 月～）はクルド人で、彼には形ばかりの事務所が与えられていました。そして、2 組のクルド人家族があっ

一つは、そのイラク大統領の一家、そしてもう一方は、イラク北部クルド人自治区の大統領バールザーニー一家。この2家族はお互いに張り合っていて、一方がもう片方を裏切り、あちらのシーア派に売ったのです。そのため、キルクークはあつという間に征服され、キルクーク油田があつという間に征服されたのです。そして、クルド人は、あそこで膨大な死者を出して苦しみました。

アメリカは現在、中東での歩みを計算し直しています。なぜかと言えば、アメリカ…トランプは、彼が探究していたスンニ派である ISIS の破滅が、実際はシーア派とイランを強めていることに気づいたのです。だから彼は、2週間前のあの演説を行って、イランに関して、アメリカの新しい政策を発表したのです。イランがどんどん力を増していることに、彼は気づいたのです。また、ISIS を破滅しようとする働きによって、ISIS が敗北した所は、全てシーア派に占領されて、これまでは一度もシーア派に占領された事のなかったような領土が、今現在シーア派に占領されているのです。ですから結局、ISIS との戦いで勝利し、褒美を得ているのは、イランと、イラクとシリアのシーア派です。そこで今、アメリカは、シリア内の ISIS が元々いた場所と、イラク内の両方で、シーア派の拡大を阻止しています。そして、苦しんでいるのはクルド人です。現在、シーア派がどんどん彼らに向かって来ているからです。イラク軍の変装の支配下にある、シーア派民兵ハシャド・シャービが、今現在クルド人を惨殺しているという、恐ろしい証言が多数あります。唯一、ISIS と戦ったクルド人たちが、今やそのツケを払っているのです。しかし、残念ながら、アメリカは彼らの味方はしていません。だから彼らは完全に孤立していて、彼らの独立宣言は残念ですが、上手くは行きませんでした。恐らく、現在起こっている全ての中東危機の中で、これが一番の悲劇でしょう。もちろん、現在シリアで起こっていることを除いて、ですが、彼らのために祈らなければなりません。彼らは恐ろしい苦しみの中にいますから。

以上が、現在ヨーロッパ、ガザとの境界、それからシリア、イラク地域で起こっていることです。

しかし、イスラエル国内であろうと、イスラエル国外であろうと、これら全ての混乱の中にも、イスラエルの神、主は、その約束に真実であられることを、私たちは理解しておかなければなりません。また、最終的にイスラエルを救うだけでなく、主の民を救うために来られます。そして、私たち信者をこの悪の世から救うために来られます。

携挙が今起こるのか、後で起こるのか、患難の前か、途中か、後なのか、大きな論争が起こっているのは私も知っています。ただ、私に言えるのは、イエスが言われた一つの事です。私たちが思いもしていない時に、その日が訪れる、ということです。その日は、夜の盗人のように来ます。だから私たちは、備えていなければならないのです。とにかく、備えていなければならないのです。これら全ての混乱の中にあつて、主が私たち全員に言われたのは、一つに、

33 …あなたがたは、世にあつては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。

(ヨハネ 16:33)

しかし、彼はこうも言われました。ヨハネ 14 章です。

2 …わたしは場所を備えに行くのです。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:2~3)

彼は、約束されたのです。携拳は、イエスの教会との約束です。携拳は、ファンタジーではなく、彼が来て、私たちを連れて行くという、主の約束です。そして彼は、「思いがけない時に来る」と言われたのです。つまり、皆が期待している特定の日ではないのです。前にも言いましたが、日を特定することに関して、私たちは既に学んだはずで、9月23日ではなかったし、10月31日でもありません。私たちには、分からない。2秒後かもしれないし、1時間後かも知れません。10年後かも知れません。ただ、私たちに分かっているのは、主が私たちに、備えておくように、と言われたことです。彼は、私たちにいつも備えていなさい、と言われました。それから、聖書には、こう書かれています。携拳について、主がすぐに戻って来られることについて、私たちが常に話していることを、主は望んでおられるのです。だから、言われました。

18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

(第一テサロニケ 4:18)

これは、「私たちが患難を経験する」という事実をもって、互いに慰め合いなさい、と言ったのではないと思います。それは、慰めではありません。さらに、わたしが思うのは、あなたが、患難時代に突入したと感じた瞬間、あなたが、反キリストを見た瞬間から、日数は既に定められているのです。聖書には、正確な数字が書かれています。反キリストが42か月間支配することが、私たちに分かっています。7年です。そして後半の1260日が大患難であることも、私たちに分かっています。ヤコブの苦難の時、神の御怒りです。患難が始まり、反キリストが登場した瞬間に、私たちに全てが分かります。そこに差し迫りはありません。だから私たちは、用意していなければならないのです。そして私たちは、備えが出来ていなければなりません。それだけでなく、私たちは御父の仕事に勤しんでいなければなりません。御父の仕事に勤しめるというのは、特権だと私は思っています。この終わりの時に、これは特権です。物事は、悪くなる一方ですから。この終わりの時、世が私たちを見た時に、希望と、理解をはるかに超える平安、私たちの救いの喜び、そして私たちが持っている祝福された希望を彼らが見なければなりません。聖書の中で、パウロはテサロニケの人々にこう言っています。「どうしてあなたがたは希望のない人たちのように見えるのですか？私たちが希望のないものではありません」と。私の背後も同じです。希望のない人でいっぱい。ここで携拳が起こったとき、彼らが気付くかどうか、私には分かりません。ここにも素晴らしい信者たちがいることは、私も知っていますし、この週末は、素晴らしい時間となるでしょう。ただ、皆さんに知っておいてほしいのは、そこがどこであれ、主はあなたを、主の代表として召されたのです。あなたは城壁の見張り役なのです。主が、あなたに、その場所とそこの人々を託されたのです。このような時代に、です。現在は困難な時代です。さらに悪くなる一方です。わたしが不吉で陰気くさい預言者だから言うものではありません。私は、預言者ではありませんし。私はただ、預言者たちが言うことを読んでいただけです。それで、事態はどんどん悪くなる一方だと、私たちに分かるのです。だから私たちは、それを理解して、そして賢くならなければなりません。敵の策

略は、人々を眠らせることです。人を眠らせ、何が起きているのか理解させないのです。そして、全てが順調、全てが平和だと考えさせるのです。だから、聖書にはローマ書 13 章に次のように書いてあるのです。

11 …あなたがたが眠りから覚めるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。

12 夜はふけて、昼が近づきました。…

(ローマ書 13:11~12)

同じことが、第一テサロニケ 5 章にも書いてあります。だから、私たちは覚えていなければなりません。私たちは目を覚まし、見張っていなければなりません。警戒していなければなりません。そして、私たちは、絶対に希望のない人のようであってはならないし、そのようにはなりません。世は、私たちを見えています。そこでもし私たち、神の民、信者たちが、恐れおののいて、落ち込み、希望がなかったら、彼らはどこに希望を見つけるのですか？ 私たちは灯台です。イエスが言われたのを覚えていますか？

13 あなたがたは、地の塩です。…

(マタイ 5:13)

14 あなたがたは、世界の光です。…

15 また、あかりをつけて、それを柵の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。…

(マタイ 5:14~15)

私たちは世の光だ、と。私たちは、世の光になっていますか？ 私たちは、神の民、彼に選ばれた者、私たちは、王国の祭司です。これは、物凄い肩書きですよ。ですからもう一度、皆さんを励ましたいと思います。なんというか、人々に御言葉を読ませない空気のようなものがあるのです。

「ただ不吉で、陰気くさいだけだから、聖書は読むな」と。もしくは、

「聖書を読みなさい。そして、事態はただ悪くなる一方であることを知りなさい。あなたにはこれが起こり、あれが起こり、…」

と言って、そして、希望をすっかり忘れさせるか。だから、皆さんを励ましたいので、お伝えしたいのは、これから毎週これを行いたいと思っています。毎週イスラエルからニュースをお届けして、それから何百と受け取る質問の中から、毎週二、三質問にもお答えしたいと思います。ですから、今はその準備を整えている状態です。毎週のイスラエルからのニュースと、中東からのニュース、それと皆さんからの質問に対する答えをお伝えします。きっと、皆さんの祝福になると信じています。ぜひご視聴ください。

ありがとうございます。最後に、とても大切な事をお伝えします。皆さん、理解されていると良いのですが、私たちの You Tube チャンネルは、「Behold Israel/ビホールド イスラエル」です。私のメッセージを聴くためには、私たちのチャンネルだけを観るようにしてください。なぜかと言うと、私のメッセージを、自分たちのチャンネルに再登校している人たちがいて、中には、それを編集して、私が一度も言っていない事を、まるで私が言っているかのように見せかけていることが分かったのです。ですから、皆さん、「Behold Israel/ビホールド イスラエル」のチャンネル以外では、私のメッセージは絶対

に視聴しないでください。どうか、チャンネル登録をしてください。すでに、55,000人以上の方が登録してくださっていますが、登録せずに、私たちのメッセージを改ざんして再投稿している、他のチャンネルを通して聴いている方がたくさんいるはずですよ。ですからお願いします。どうか、登録してください。そして、ユーチューブもフェイスブックも見えていない方は、ニュースレターを登録してください。そうすれば、毎週メールが届きます。ウェブサイト beholdisrael.org を開いて、ニュースレターを登録すれば、届きます。

皆さん、ありがとうございます。

カリフォルニア州サンフランシスコより、シャローム！

God bless you!

アロンの祝福をもって、皆さんを祝福させていただきます。

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
- 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
- 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

ヴェイシェメレハー

וְיִשְׁמְרֶךָ

..(主が)あなたを守られますように

アドナーイ

יְהוָה

主が

イエヴァーレフハー

יְבָרְכֶךָ

あなたを祝福し

ヴィーフネツッカー

וַיְהַנֶּכֶךָ

..(主が)あなたを恵まれますように

エーレーハー

אֵלֶיךָ

あなたに(向けて) 御顔を

パーナーヴ

פָּנָיו

御顔を

アドナーイ

יְהוָה

主が

ヤーエール

יָאֵר

照らし

シャローム レハー

שְׁלוֹם לְךָ

平安を あなたに

ヴェヤーセーム

וַיִּשֶׂם

(主が)賜るように

エーレーハー

אֵלֶיךָ

あなたに(向けて) 御顔を

パーナーヴ アドナーイ

פָּנָיו יְהוָה

主が

イッサー

יִשָּׂא

上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

(民数記 6:24~26)

シャローム。平和。あらゆる理解を超える平安。平和の君が来られて、統治される時、初めて与えられる平和です。以上です。カナダでの私のメッセージも、公開され次第お届けしたいと思っています。一つは新しいメッセージで、タイトルは「聖書預言の中の中東」。その中で、聖書預言の中での中東の過去、現在、未来を皆さんにお見せしました。ですから、それが公開され次第、投稿します。それから、出来上がったばかりの新しいメッセージは、「その日が近づいている」。これがとてもワクワクします。ここカリフォルニア州ベイエリアの教会で開かれる、2つのカンファレンスでこのメッセージをお話します。ありがとうございます。God bless you! シャローム！恐らく来週から毎週お届けします。感謝します。

God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>